

目次

昭和七年度大会を迎へて……………	一	休止支部……………	四
所屬支部現勢……………	二	十萬突破運動……………	四
本部役員氏名……………	三	争議部報告……………	七
一般會務報告……………	四	労働争議一覽表……………	八
昭和六年度大会記録……………	四	教育部報告……………	九
理事會記録……………	六	政治部報告……………	〇
昭和六年度大会決議の執行……………	八	青年部報告……………	三
昭和七年度マナーデー……………	〇	調査部報告……………	三
總同盟全國大会……………	二	婦人部報告……………	三
關東同盟會大会……………	三	事業部報告……………	四
組織部報告……………	三	會計報告……………	四
新設支部一覽表……………	三		

昭和七年度大会を迎へて

圓本景氣のあとを享けた、今年度に於ける我が出版印刷産業界は、今次の世界的恐慌の嵐の中に捲きこまれ未曾有の窮乏のドン底に叩き陥された。少數大資本の會社を除けば、家内工業を出でざる小資本は、萬を數へざる資本によつて、あたかも大資本家の如きブライドを以て經營をなせる憐れなる小企業家は、圓本景氣の一度地を拂はんとするや何條匡救の道もたて得ず、昨日の御主人は今日の一失業者と激變するの慘狀を招來した。かゝる無統制の産業界に職を得たる労働者は、事業主の無算當に正比例してか、其の多くは何等自衛の道を構することなく昔ながらの『お職人』の名に甘んじ臨休その他極悪なる職制の下に酷使せられ、一家口に糊するさへも困難な状態に置かれて居る。一方比較的大資本の下にある労働者は、印刷資本家獨特の重壓労働政策によつて驅使され極度に萎縮し、賃金低下に次ぐ低下最後の敲首等の暴壓を加えられても何等なしえず屏息するの止む得なき有様である。かゝる加えて出版印刷産業界に蠶食せる極左的指導者は、今尙徒らに煽激なる言辭と無責任極まる行動とに依つて犠牲のみ多き破壊的運動を續け出版印刷労働者の大量組織を阻み退遠せしめつゝあるかゝる困難なる状態下に於ひて我が出版印刷労働組合は、日本労働總同盟旗高らかに、労働組合主義の正統を踏みて、萎縮と偏見にとらはれたる、出版印刷労働者の開明にむかつて邁進して來た。我等が勞は、今や報はれんとして居る。見よ本年度に於ける活動は、あらゆる困難を蹴とばして都下に於けるあらゆる大工場にオルグのを編成終つた。我等は此の昭和七年度大会を通じて必ずや質的より量的への大量獲得組織戦を展開するの固き自信を有するものである。希ば我が同志諸君、我が組合員一萬人突破を目ざして飛躍擴大のたのに努力せられんことを望む。

昭和七年九月廿四日

組合長 徳 永 正 報